

# 1

## 大谷新学長 就任にあたり

### 地域中核大学として発展する島根大学

島根県の主要産業であるマテリアル関連産業の発展と、研究開発型企业への転換を目指す地域産業界を、島根大学が研究と人材育成の両面から牽引し、地域産業を活性化し島根創生を実現する。

#### 島根県の強みを踏まえた島根大学の材料科学分野における教育・研究の抜本的強化と島根創生

R6：先端マテリアル研究開発協創機構（IAMR&D）  
（R6産学協創インキュベーションセンター竣工）

R5：材料エネルギー学部  
（R7竣工）

H31：次世代たたら協創センター（NEXTA）



H30：内閣府事業採択（島根県）  
「たたらプロジェクト」



論文、外部資金獲得等  
実績ある教員が参入

ヒト、コト、モノ  
が集まり“人と  
企業を呼び込む”  
活力ある大学を実現

「材料・素材」を通じた  
全学的なビジョン・計画の創造

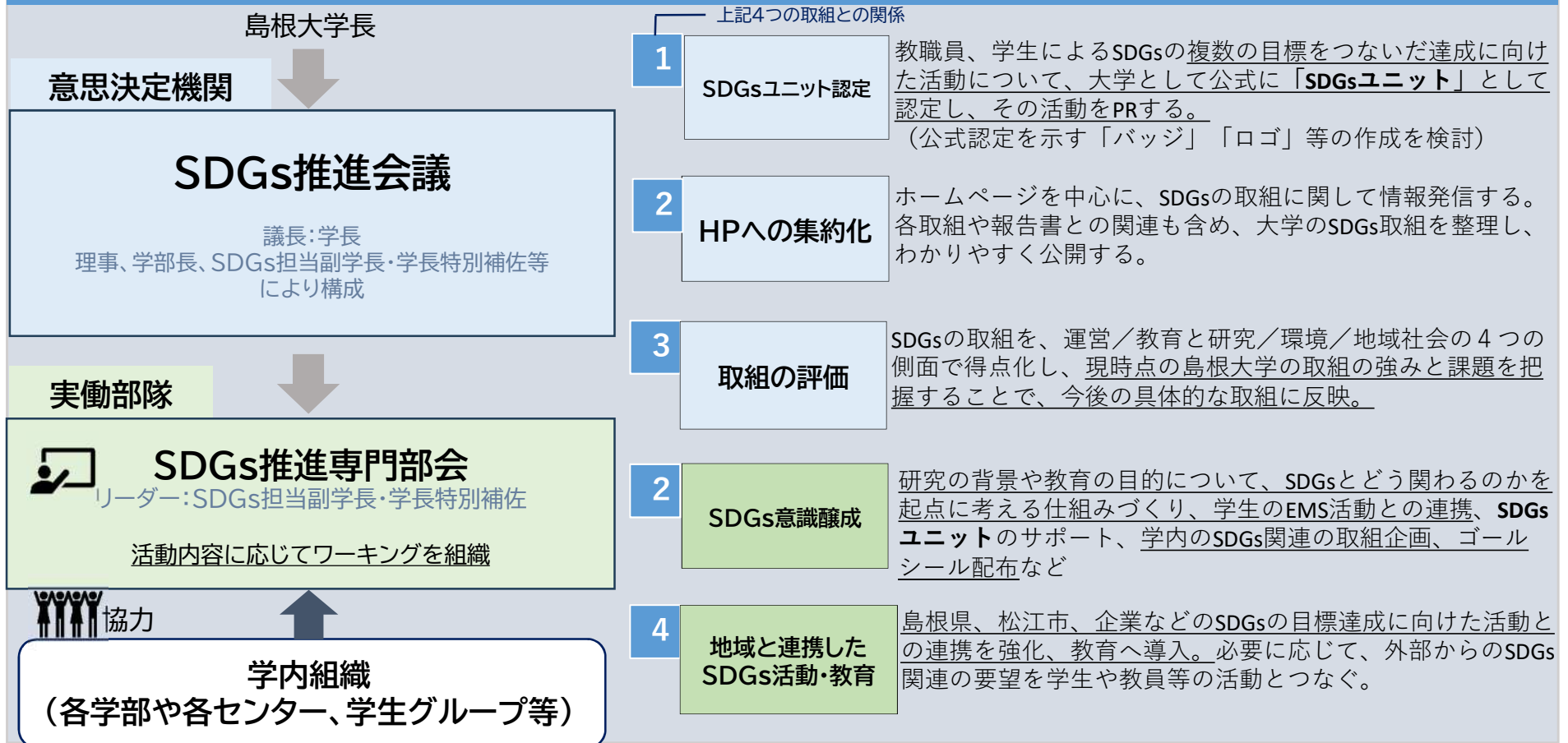
“材料科学”といえば  
島根大学と国内外に  
認知される大学へ

# 1

## 大谷新学長 就任にあたり

### 【島根大学×SDGs】 真の持続性を求めて —SDGsからその先へ—

1. <SDGs取組の促進> SDGsユニットを大学が公式認定し、学内外へのPRを促進
2. <取組の見える化> HPの立ち上げによる取組の情報を集約し、SDGsの活動報告を実施
3. <客観的な現状把握> サステイナブルキャンパスを目指して、SDGsの取組やバランスを評価
4. <地域との連携強化> SDGsの出張講義・SDGs教育企画／学外のSDGs関連ニーズと学内とをつなぐ



上記4つの取組との関係

- 1  
SDGsユニット認定

教職員、学生によるSDGsの複数の目標をつないだ達成に向けた活動について、大学として公式に「SDGsユニット」として認定し、その活動をPRする。  
(公式認定を示す「バッジ」「ロゴ」等の作成を検討)
- 2  
HPへの集約化

ホームページを中心に、SDGsの取組に関して情報発信する。各取組や報告書との関連も含め、大学のSDGs取組を整理し、わかりやすく公開する。
- 3  
取組の評価

SDGsの取組を、運営／教育と研究／環境／地域社会の4つの側面で得点化し、現時点の島根大学の取組の強みと課題を把握することで、今後の具体的な取組に反映。
- 4  
地域と連携したSDGs活動・教育

島根県、松江市、企業などのSDGsの目標達成に向けた活動との連携を強化、教育へ導入。必要に応じて、外部からのSDGs関連の要望を学生や教員等の活動とつなぐ。